



中堅・中小製造業の経営革新！

製造現場の問題解消！

(1)問題の考え方

株式会社 IMEコンサルティング
代表取締役 立居場誠治

Save The Earth
© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

定期経営セミナー開催予定

- 場所
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
TEL: 03-3733-6600
- 日時
4月20日(金) F会議室
5月19日(土) 大学校 教室
6月29日(金) F会議室
7月20日(金) F会議室
18:30から1.5~2時間程度
- テーマ
・企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する

はじめに

(1)問題点の放置は会社をつぶす、不幸を呼ぶ

- 会社では、お客様に製品をお買い上げいただき、その代金で次の材料費・労務費・経費を賄っている。当然、従業員の給料などもそこから支払われている。
- しかし、生産工程のどこかで問題が発生し、QCDに影響が出ると、原価が上昇し、労務費の捻出が困難になる可能性が出てくる。そのため、製造現場での問題発生による、造り直しや不良の廃棄、予定時間の遅延などは、会社全体で防ぐようにしなければならない。
- そもそも問題が全く発生しない会社は、おそらく存在しないので、どこの会社でも問題対応は、重要な経営課題であるともいえる。

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

課題と問題、解決と解消

	どうする	解決	解消
なにを		解いて、決着(結論・結果を出す事、きまりをつける事)をつけること。	解くことで、消えること。題の内容が無くなること。
課題	課する又は課せられる題・テーマ 目的・目標を達成する為、これから成すべきこと。ポジティブに表現される。	課題解決 課せられた題を解いて決着する。	課題解消 課題は目標達成の為の実行テーマであるため、消えてなくなる「課題の解消」は、なじまない。
問題	研究・論議し解決すべき事柄。 不都合等が発生している状況を示す。 組織にネガティブな影響を及ぼすもの。	問題解決 問題点は、改善して問題の状況が無くなる事が望まれる。決着して済むことではない場合がある。	問題解消 不都合などの状態を改善するなどして、原因や影響をなくす。

そもそも「問題」とは、なに？

製造現場の問題 = 正解と実態のギャップ！

- 製造現場においては、指示や指導が正しく行われても、
- 実際にはその基準・手順が守られず、
- QCDや安全衛生に「問題」が発生するケースが多くみられる。
- その結果、様々な支障が出るのが「問題」の困る所である。

計画・基準・手順
(正解の方法等)

←

実態・実施状況

同じなら「問題なし」
違いがあれば「問題あり」

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

問題の発生～改善～定着管理・・・は、「ヒューマンエラー対策」と「組織管理」の相乗効果

「ヒューマンエラー対策」

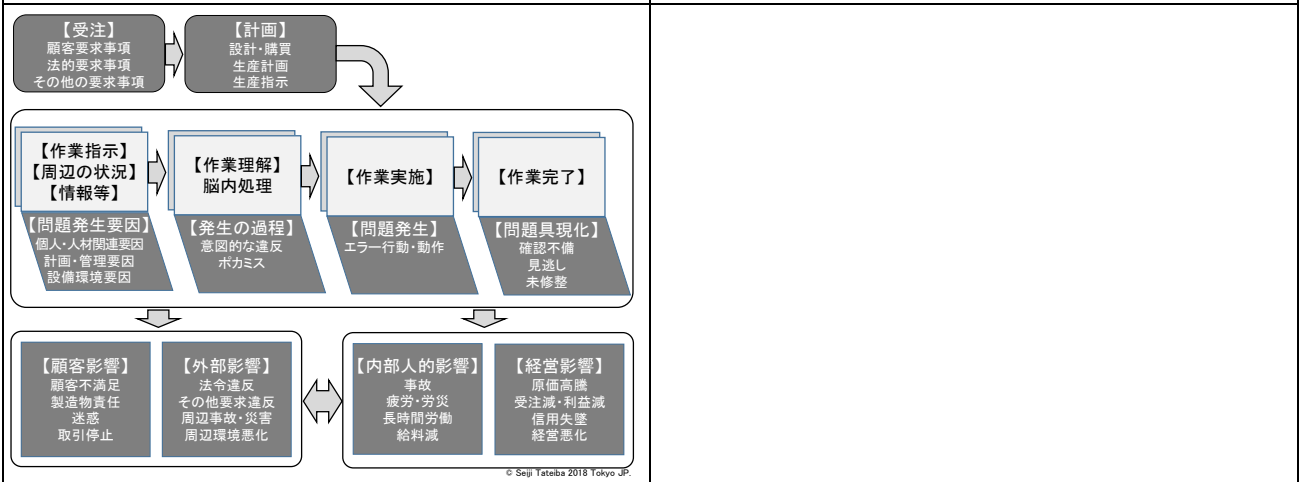
- 現場作業でのヒューマンエラーはQC/QDや安全に直結している
- 当事者のポカミス、計画や管理の不備、不適切な設備環境、是正・予防の不備・・・など、社内で発生する問題のほとんどは、ヒューマンエラーによるものである。

「組織管理」

- 会社を動かす仕組みは組織管理である
- 組織規程、業務分掌規程などで定められた縦横の分業による責任・権限を全うする事が重要
- 職責に基づいて、発見・対応・対策・予防活動を行う

「ヒューマンエラー対策」と「組織管理」の一方でも欠けると、問題の発生、悪化を招いてしまう。会社全体の団体戦で取り組むこと。

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP



問題発見・改善の流れ

・ 真の問題解決を実践する為には、会社の役割分担を考慮し、基本的な流れを分類して、日常の業務活動・管理活動での対応が必要と考えられる。

活動	当事者	当事者の管理者
1 監視・測定・報連相	日々の業務遂行・問題発見活動	日々の管理活動
2 発見・現象認知	発見者判断→現象対応の報連相	対応権限の行使・指示等
3 →現象対応	暫定・応急・緩和処置(その場の対処)	対応結果確認、対外報告等
4 原因究明	(原因の調査検討)	(原因の調査検討)
5 →是正処置	原因を取除く処置(改善)	改善(改善案の評価)
6 要因追及	(要因の調査検討、リスクの抽出)	(要因の調査検討、リスク評価)
7 →予防処置	要因を取除く処置(リスク対策)・・・※	リスクマネジメント
8 標準化→管理	実行義務	標準化の責任、管理責任

※要因を取除く処置(リスク対策)は、リスクを評価し「移転」「回避」「排除・低減」「保有」を判断し、対策する。

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP

・ 問題は、正解と実態のギャップ・・・多くの会社での2つの疑問??

→ そもそも問題(ギャップ)が発生するのはなぜ?

→ 対策しても問題(ギャップ)が無くならないのはなぜ?

↓

問題のほとんどはヒューマンエラー数多くある原因・要因を抽出し、関係者が改善を行い、きちんと管理し定着化する

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP

※ この資料は、研修会場で配布した資料の抜粋です。